

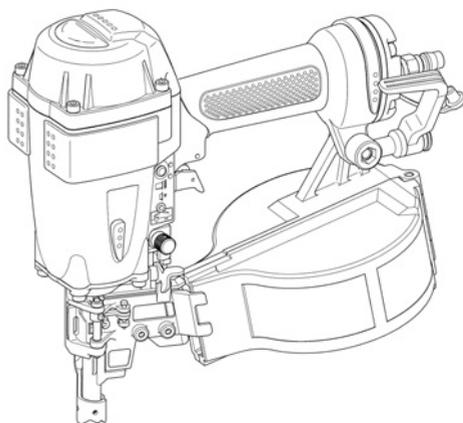
Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

サイディング用 エア釘打

取扱説明書

モデル AN552



このたびはサイディング用エア釘打をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



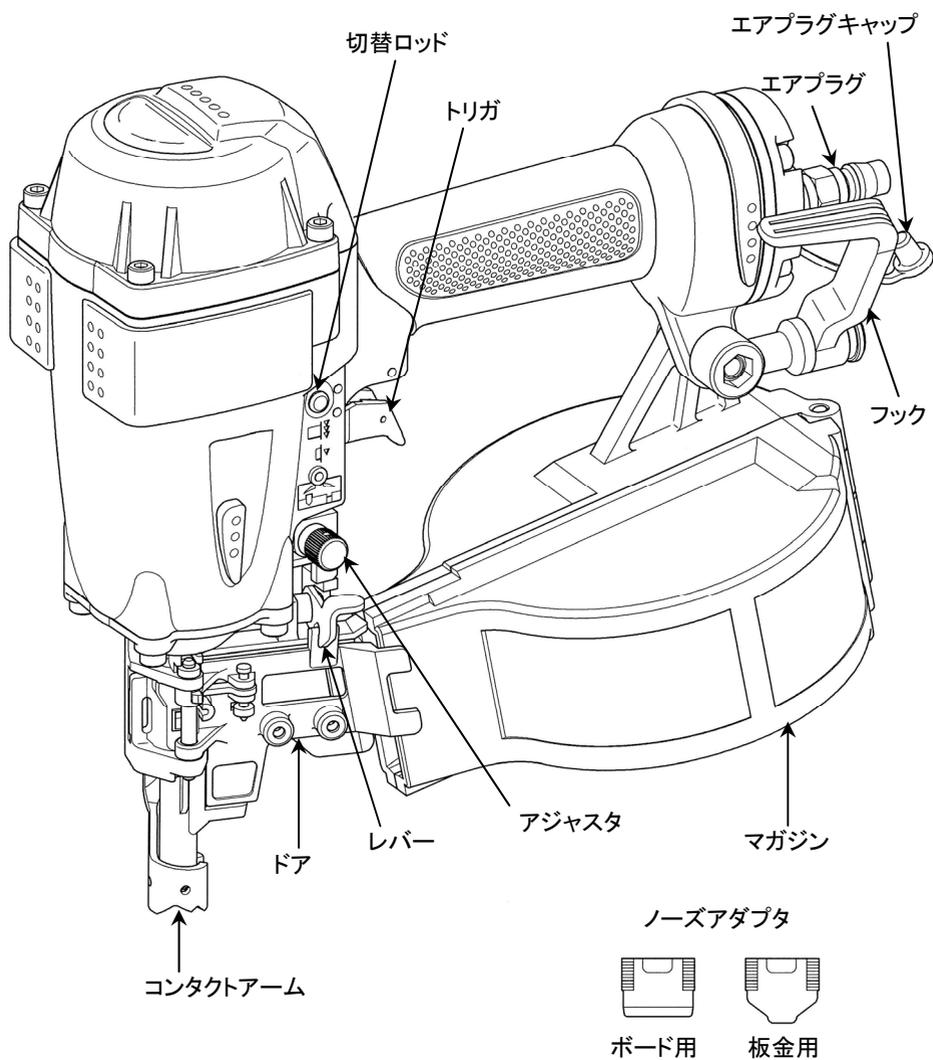
警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 必ずセーフティゴーグル(保護メガネ)を着用して使用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検し、正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外す。
- 使用時以外は、絶対にトリガ(引き金)に触れない。
- 圧縮空気以外の動力源を絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物の近くで、絶対に使用しない。

INDEX

1	各部の名称	1
2	安全上の注意点	
	使用前	2
	使用中	4
	使用后	6
3	製品仕様と用途	7
4	エア消費量	7
5	使用釘一覧	8
6	使用方法	
	釘の入れ方	9
	単発・連続打ちの切替機構	10
	コンタクトアームロックの使い方	11
	アジャスタ(打込み深さ調整)方法	11
	フックの使い方	12
	ノーズアダプタの使い方	12
	連結シートの切り方	13
	釘詰まりの直し方	13
7	使用後のメンテナンス	14

1. 各部の名称



2. 安全上の注意点

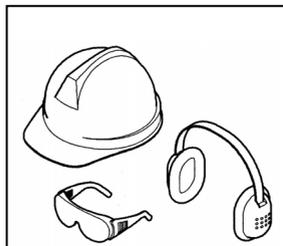
使用前

⚠ 警告

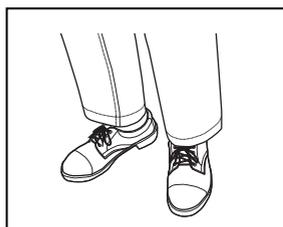
- ① 使用の際は、必ずセーフティゴーグル(保護メガネ)およびヘルメットを着用して下さい。

釘を連結しているワイヤおよびプラスチックや、打ち損じの釘が目に入ると危険です。

作業中は作業者および周りの人もセーフティゴーグル(保護メガネ)・ヘルメットを着用して下さい。



- ② 発射(排気)音や排気エアから耳を保護するため、防音保護具を着用して下さい。

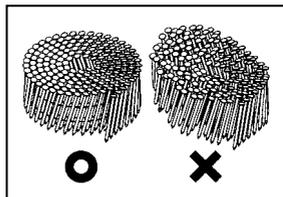


- ③ 作業環境に応じて、安全靴を着用して下さい。

- ④ 作業環境は整理整頓を行い、足下に注意して下さい。

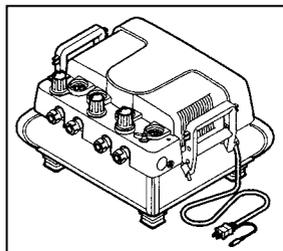
- ⑤ 連結釘の確認を行って下さい。

使用前に連結釘が変形していないか、絡まっていないか、確認して下さい。もし、異常を感じる連結釘が発見された場合、絶対に使用しないで下さい。



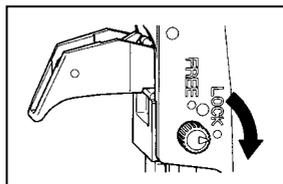
- ⑥ 圧縮空気以外は絶対に使用しないで下さい。

本製品は圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外(例:高圧ガス、酸素等)を使用すると異常燃焼を起こし、爆発の危険を伴います。



- ⑦ エアホース接続の際、次の事を厳守して下さい。

- コンタクトアームロックをする。
- コンタクトアームに触れたり、押し上げた状態にしない。
- 射出口を人体に向けない。

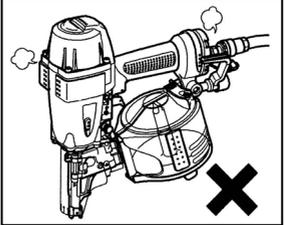


⚠ 警告

⑧ 釘を装填する前に、エアホースを接続し、次の事を確認して下さい。

- エアホースを接続しただけで、本製品が作動しないか。
- エア漏れや異常音を発する事はないか。

上記のような異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所まで、点検・修理に出して下さい。



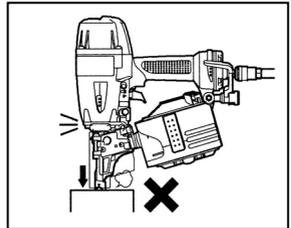
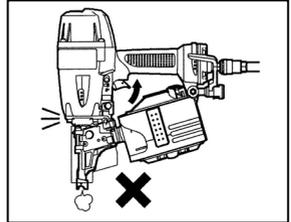
⑨ 安全装置(コンタクトアーム)が正常に作動するか確認して下さい。

正常でない場合は、絶対に使用しないで下さい。

釘を装填する前にエアホースを接続し、コンタクトアームロックを解除して、次の事を確認して下さい。

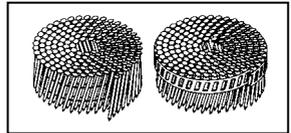
- トリガを引いただけで、作動音がする。
- コンタクトアームを対象物に押し付けただけで作動音がする。

上記のような異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所まで、点検・修理に出して下さい。



⑩ 指定の釘を使用して下さい。

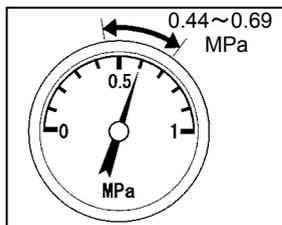
指定の釘以外のものを使用すると、故障や釘詰まりの原因になるだけでなく、思わぬ事故や施工上の欠陥になる場合があります。必ず、指定の釘をご使用下さい。



警告

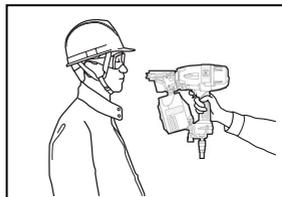
① 使用圧力範囲でご使用下さい。

本製品の圧力範囲は 0.44~0.69MPa (4.5~7.0kgf/cm²) です。この範囲内で使用して下さい。圧力が 0.44MPa 未満に低下している場合、打込み不良・空打ち等の現象が発生し、本製品の性能が十分に発揮されません。また、0.69MPa を越えた圧力で使用すると、本製品の耐久性が低下し、破損・破裂により人体へ損傷を与える危険性があります。



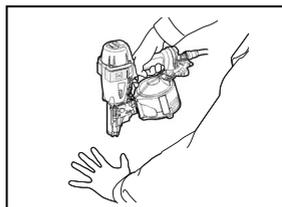
② 射出口を絶対に人体に向けないで下さい。

誤って発射された場合、大変危険ですので、人体に射出口を絶対に向けないで下さい。



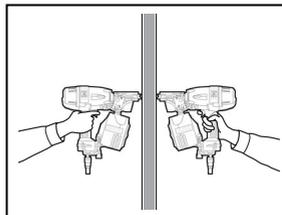
③ 射出口の近くには、絶対に手を近づけないで下さい。

材料に手を添えて使用する場合、手を射出口から 30 cm 以上を目安に離し、安全を確認の上ご使用下さい。釘が跳ね返って飛んできたり、誤って手を打つ危険性があります。



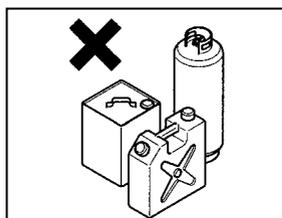
④ 向かい合っの釘打ち作業は絶対にしないで下さい。

向かい合っの釘打ち作業を行う場合、材料を釘先が突き抜れたり、打ち損じた釘が前の作業者に当たり、思わぬ事故を引き起こす場合があります。



⑤ 揮発性可燃物の周りでは、絶対に作業しないで下さい。

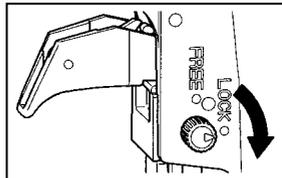
本製品は、釘が発射されて対象物に打ち込まれる際、火花が散ることがあります。揮発性可燃物(シンナー、ラッカー、ガソリン等)の近くで作業すると、火花による引火で爆発や火災の原因になります。



警告

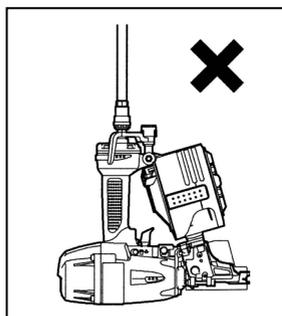
⑥ 次の場合は、コンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

- 使用しない時や、作業を中断する時。
 - 釘を装填する時。
 - 打込み深さ調整や、釘詰まりを直す時。
 - 持ち運ぶ場合や、手渡しする時。
 - フックを腰ベルトに引っ掛ける時。
- 誤って釘が発射された場合、大変危険です。



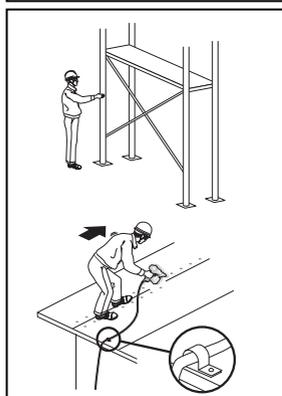
⑦ エアホースを持って、本製品を吊らさないで下さい。

高所での作業終了後、エアホースを持って本製品を吊り下げる事は、大変危険です。人体に接触し、思わぬ事故が発生するばかりか、本製品の落下による損傷の原因となります。



⑧ 足場の安全性を充分に確認して下さい。

足場を利用して作業する場合、転落することのないように、充分に安全を確保するようにして下さい。

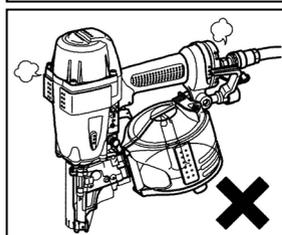


⑨ 高所作業の場合、エアホースを固定して下さい。

本製品が落下すると、歩行者や他の作業者に危険が及びます。落下を防ぐため、エアホースは固定して下さい。

⑩ 傾斜面(屋根など)での作業は、下から上に向かって作業して下さい。

下に向かって作業すると、足を踏み外す危険があります。



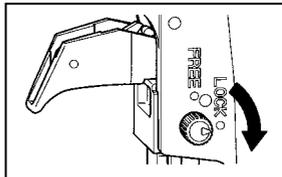
⑪ 使用中に異常を感じたら、すぐ使用を中止して下さい。

異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所まで、点検・修理に出して下さい。

使用後

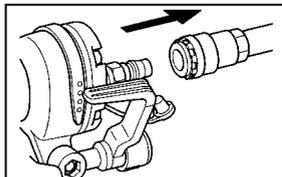
⚠ 警告

① 作業後は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。



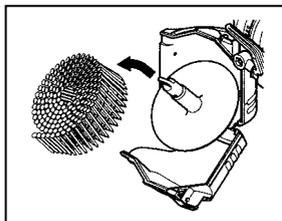
② 作業後は、必ず釘を抜き取って下さい。

釘をマガジン内に残しておくと、次に使用する際、誤って作動した場合に、思わぬ事故を引き起こすことがあります。



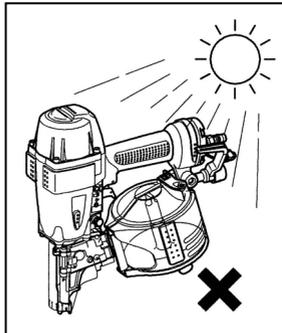
③ 直射日光を避けて下さい。

本製品や、エアコンプレッサ、エアセットは、直射日光に長時間当てたまま放置しないで下さい。



④ 本製品を絶対に改造しないで下さい。

本製品は使用者の安全を考えて設計・製造されています。お客様の都合で改造したり、正規部品以外を取り付けて使用する事は、大変危険ですので、絶対に行わないで下さい。



3. 製品仕様と用途

商品名	AN552
寸法(H×W×L)	282×137×304 mm
質量(エアプラグ除く)	2.0kg
使用釘	シート釘 27～50mm(逆巻き)
使用圧力範囲	0.44～0.69MPa(4.5～7.0kgf/cm ²)
使用ホース	内径6.5mm以上 長さ30m以内
使用オイル	タービン油 (JIS2種 ISO VG32)
エア基本構造	エアリサイクル機構
安全装置	コンタクトアーム方式、コンタクトアームロック機構
打込み深さ調整	ダイヤル式(調整幅5mm)
マガジン	サイドオープン方式
釘送り機構	フィードピストン方式
装填本数	300本
標準付属品	セーフティゴーグル(保護メガネ)、油サシ(タービン油 JIS2種 ISO VG32) 六角棒レンチ4、5、ノーズアダプタ2個(ボード用、板金用)
使用用途	木下地
	屋根、床、モルタル、天井などの下地打ち 間柱、根太、たる木、筋かい、軒先回り、窓枠、ぬきなどの下地打ち 窯業系サイディングなどの外壁打ち 乾式レンガ貼りの各種下地打ち
	鉄骨下地
	窯業系サイディング、木胴縁、たる木、コンパネ打ち 梱包など各種木材打ち

4. エア消費量

使用圧力 MPa(kgf/cm ²)	1サイクル当たりのエア消費量 L
0.44 (4.5)	1.1
0.49 (5.0)	1.2
0.54 (5.5)	1.3
0.59 (6.0)	1.4
0.64 (6.5)	1.6
0.69 (7.0)	1.7
0.74 (7.5)	1.8

※ 単発打ちでのエア消費量です。連続打ちの場合とは異なりますので、エアコンプレッサ選定の目安にして下さい。

5. 使用釘一覧

シート連結 逆巻き (コイルタイプ)					
釘の種類		長さ	線径	頭径	部品番号
ステンレス	リング	38	2.1	5.5	F-20015
		40	2.2	5.5	F-20028
		45	2.4	5.5	F-20031
		50	2.4	5.5	F-20044
ステンレス 焼入	スクリュー	32	2.52	5.5	F-20176
		38	2.52	5.5	F-20189
		45	2.52	5.5	F-20192
鉄	スムーズ	27	2.03	5.5	F-20253
		32	2.03	5.5	F-20266
		38	2.03	5.5	F-20279
		45	2.03	5.5	F-20282
		50	2.18	5.5	F-20295
	スクリュー	32	2.1	5.5	F-20343
		38	2.1	5.5	F-20356
		45	2.18	5.5	F-20369
		50	2.33	5.5	F-20372
		焼入メッキ	スクリュー	29	2.52
32	2.52			5.5	F-20060
38	2.52			5.5	F-20073
45	2.52			5.5	F-20086
50	2.52			5.5	F-20099

6. 使用方法

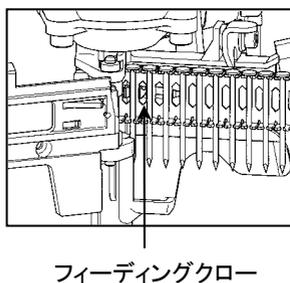
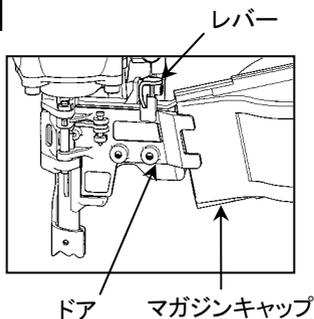
釘の入れ方



警告

- 釘を装填する際は、必ずコンタクトアームロックをしてエアホースを外す。

- ① コンタクトアームロックをして(P.11 参照)、エアホースを外します。
- ② レバーを上を持ち上げるとドアが開きます。
- ③ マガジンキャップを開き釘をマガジン内に装填します。
- ④ コイルの先端を釘通路に入れ、シート背面の穴をフィーディングクロー(釘送り爪)に噛み合わせます。
- ⑤ シートが完全にフィーディングクローに噛み合っていることを確認してマガジンキャップを閉めます。
- ⑥ レバーがしっかり止まるまで、ゆっくりとドアを閉じます。



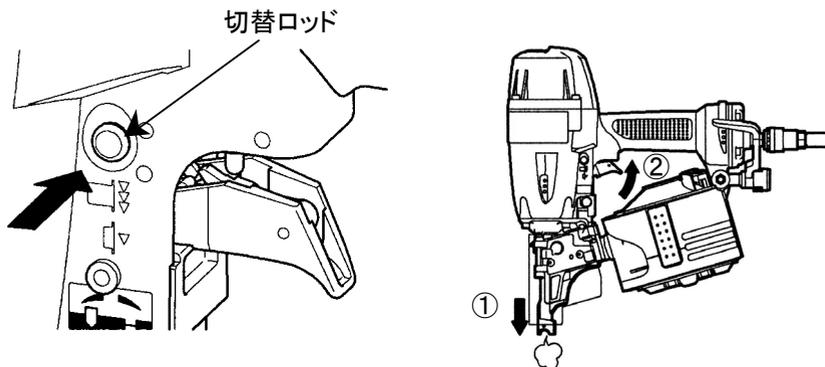
単発・連続打ちの切替機構

● 単発モード

本製品の正面から切替ロッドを押すと、「単発モード」になります。

単発モードは、安全装置(コンタクトアーム)を押さえてから、トリガを引く事で、1発のみ打込む事ができます。

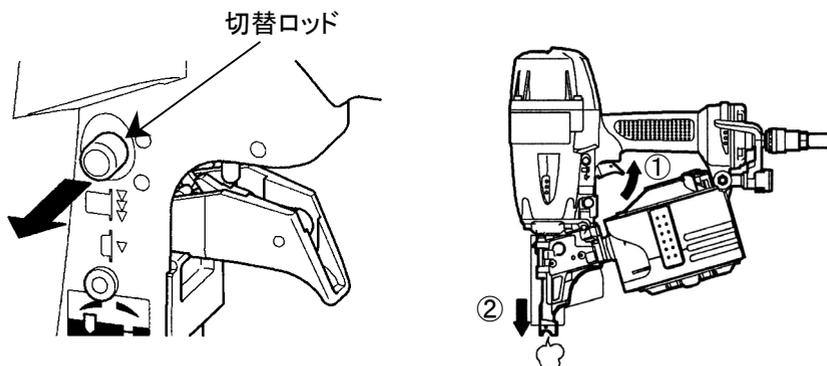
(出荷時は単発モードに設定されております。)



● 連続モード

本製品の裏面から切替ロッドを押すと、「連続モード」になります。

連続モードはトリガを引いたまま、安全装置(コンタクトアーム)を押付ける事で、何度も連続して打込む事ができます。



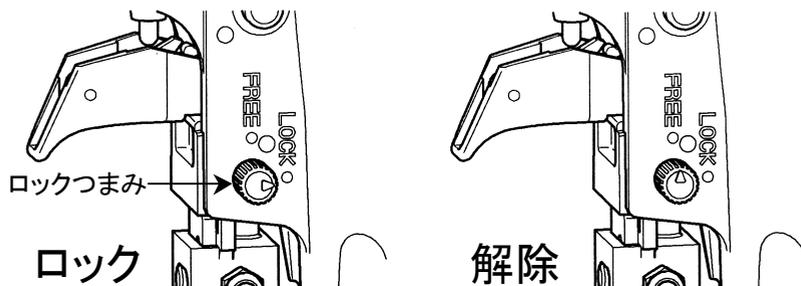
コンタクトアームロックの使い方

本製品には釘打ち作業をしていない時、誤った操作による事故を防ぐために、コンタクトアームロックを装備しています。コンタクトアームロックとは、安全装置（コンタクトアーム）をロックし、完全に発射しない状態にする機構です。

ロックつまみを「LOCK」の位置に合わせると、安全装置が固定されます。

釘を打つ時は、ロックつまみを「FREE」の位置まで回して下さい。

作業時以外はコンタクトアームロックして、エアホースを外して下さい。



アジャスタ(打込み深さ調整)方法

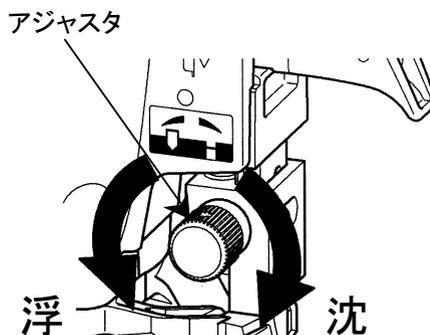
本製品は釘の打込み深さを調整する、アジャスタ機構を装備しています。

アジャスタを回転させて、打込み深さを調整して下さい。打込み深さ調整幅は5mmです。

(1回転で約0.8mmの調整ができます。)

警告

- 打込み深さ調整の際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

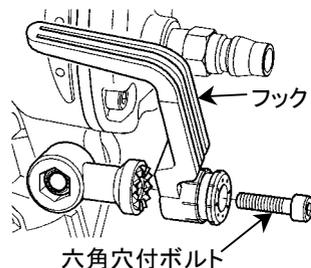


フックの使い方

フックは本機を一時引っかけておくのに便利です。

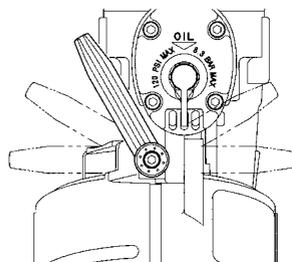
本製品は、フックを回転させる事により、フックの取付角度を5段階に変更できます。

フックを取り付けている六角穴付ボルトを外し、お好みの場所にフックをセットして、六角穴付ボルトを締め直して下さい。



⚠ 警告

- フックの角度を変える場合や、使用の際は必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。
- フックを腰のベルトなどにはけしないでください。フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。



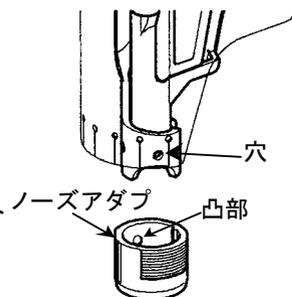
ノーズアダプタの使い方

ノーズアダプタは2種類あります。

用途により交換してご使用下さい。

● ノーズアダプタの取付方法

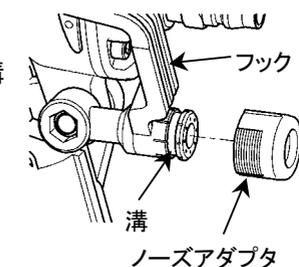
ノーズアダプタの内側にある3ヶ所の凸部が、コンタクトアームの3ヶ所の穴に入るまで押し込んで下さい。



● ノーズアダプタの保管

ノーズアダプタを使用しない時は、フックの後方に取り付けることができます。

ノーズアダプタの内側にある3ヶ所の凸部が、フックの溝に入るまで押し込んで下さい。



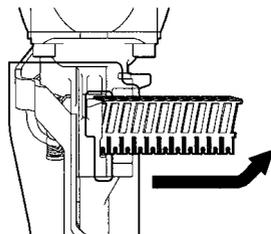
⚠ 警告

- ノーズアダプタ着脱の際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

連結シートの切り方

シート連結釘を使用していると、ドライバガイドより連結シートが出てきます。

出てきた連結シートは矢印の方向に引きちぎって下さい。

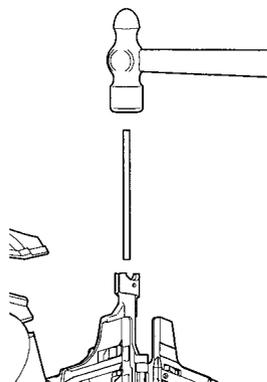


⚠ 警告

- 連結シートを切る際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

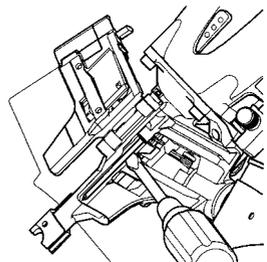
釘詰まりの直し方

- ① コンタクトアームロックをして、エアホースを外します。
- ② ドアを開け、装填されている連結釘を抜き取ります。
- ③ 射出口に釘の頭径位のポンチ・鉄棒を差し込み、ハンマでドライバを徐々に叩いて下さい。
一度に叩くと、ポンチ(鉄棒)が挟まり、取れなくなる場合があります。
- ④ ドライバガイドの内部に詰まった釘をマイナスドライバー等で取り除きます。
- ⑤ 釘を除去した後、ドライバが釘通路に出ている事を確認して下さい。(出ていた場合、棒で押し込めば、奥に入ります。)
- ⑥ 除去作業が完了したら、再度、釘を装填して下さい。



⚠ 警告

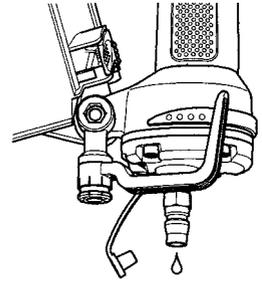
- 釘詰まりを直す際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。



7. 使用後のメンテナンス

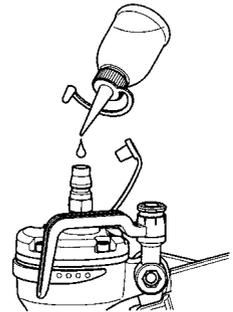
① 水抜きを行う

本製品のエアプラグをしばらく下に向け、本体内部に残っている水分をできるだけ除去して下さい。



② オイルを注油する

本製品に付属している油サシ(タービン油 JIS2 種 ISO VG32)を2~3滴(約1cc)エアプラグより注油して下さい。指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。

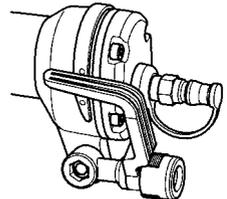


③ 本体の清掃

本体が、埃・木屑・砂などで汚れている場合は、エアダスターで清掃して下さい。

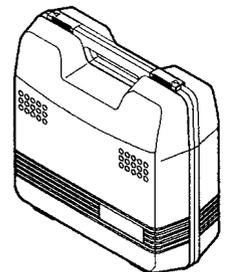
④ エアプラグキャップの使用

本製品を使用しない時は、機械内部に異物(ゴミ・埃)が入らないように、エアプラグキャップを装着して下さい。



⑤ 作業後の保管

プラスチックケースに収納し、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。



メ モ

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6351) 8771
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	関西物流センター	(0725) (46) 6715
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	奈良営業所	(0742) (61) 6484
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	橿原営業所	(0744) (22) 2061
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	和歌山営業所	(073) (471) 4585
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	沖縄営業所	(098) (874) 1222
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	兵庫支店	(0794) (82) 7411
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	三木営業所	(0794) (82) 7411
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001	神戸営業所	(078) (672) 6121
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	姫路営業所	(079) (281) 0204
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島営業所	(082) (293) 2231
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	福山営業所	(084) (923) 0960
新潟支店	(025) (247) 5356	甲府営業所	(055) (276) 7212	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
長岡営業所	(0258) (30) 5530	金沢営業所	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
山形営業所	(023) (643) 5225	七尾営業所	(0767) (52) 3533	徳山営業所	(0834) (21) 5583
酒田営業所	(0234) (26) 3551	富山営業所	(076) (451) 6260	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
秋田営業所	(018) (863) 5205	高岡営業所	(0766) (21) 3177	松江営業所	(0852) (21) 0538
宇都宮支店	(028) (634) 5295	福井営業所	(0776) (35) 1911	高松支店	(087) (867) 6411
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (867) 6411
小山営業所	(0285) (25) 5559	岐阜営業所	(058) (274) 1315	徳島営業所	(088) (626) 0555
水戸営業所	(029) (248) 2033	多治見営業所	(0572) (22) 4921	松山営業所	(089) (951) 7666
土浦営業所	(029) (821) 6086	松本営業所	(0263) (85) 4751	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
関東物流センター	(048) (771) 3451	長野営業所	(026) (225) 1022	高知営業所	(088) (884) 7811
埼玉支店	(048) (777) 4801	上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡支店	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡営業所	(092) (411) 9201
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋支店	(052) (419) 0561	北九州営業所	(093) (551) 3481
熊谷営業所	(048) (521) 4647	名古屋営業所	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
越谷営業所	(048) (976) 6155	一宮営業所	(0586) (75) 5382	久留米営業所	(0942) (43) 2441
前橋営業所	(027) (232) 5575	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
高崎営業所	(027) (365) 3688	知多営業所	(0569) (48) 8470	長崎営業所	(095) (882) 6112
両毛営業所	(0276) (46) 7661	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
千葉支店	(043) (231) 5521	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	熊本営業所	(096) (389) 4300
市川営業所	(047) (328) 1554	津営業所	(059) (232) 2446	八代営業所	(0965) (43) 1000
成田営業所	(0476) (73) 8101	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	大分営業所	(097) (567) 3320
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都支店	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
柏営業所	(04) (7175) 0411	京都営業所	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
		福知山営業所	(0773) (23) 7733	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
		大津営業所	(077) (545) 5594		
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)